

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種 | 景気の先行きに対する判断理由 |
|----------------------------|-------------|---|--|
| 家計 動向 関連 (沖縄) | ◎ | 百貨店（店舗企画） | ・希望的要素もあるが、Go To Travelキャンペーンの延長や年末年始の商戦等があり、感染防止策を講じながら集客を図っていきたい。 |
| | ○ | コンビニ（経営者） | ・近隣住人の利用客が増えているので売上が期待できる。 |
| | ○ | コンビニ（代表者） | ・県内へは観光客が徐々に戻りつつあり、一時期よりは経済活動が上向きになってきている。 |
| | ○ | コンビニ（副店長） | ・引き続きGo To Travelキャンペーンの利用者がより増加することに期待する。 |
| | ○ | 乗用車販売店（経理担当） | ・Go To Travelキャンペーンでレンタカーの予約も前年並みに戻ってきていると聞く。街にも大分活気が出てきている。 |
| | ○ | 観光型ホテル（代表取締役） | ・今後もGo To Travelキャンペーンの影響で上向きになるとみられる。ただ、前年と同じ売上になるには、まだまだ時間が掛かりそうである。今後の経済対策に期待する。 |
| | ○ | その他サービス [レンタカー]（営業） | ・Go To Travelキャンペーンの効果が現れ、10月以降の予約は前年には届かないものの回復傾向が強まってきている。 |
| | ○ | 住宅販売会社（役員） | ・新型コロナウイルス禍の生活習慣に慣れてきた感があり、客の動きも今よりは活発になるのではないかと。 |
| | □ | 一般小売店 [酒]（店長） | ・今から寒くなり、新型コロナウイルスの影響が少なからずあると考えられるので、すぐに景気回復が良くなるとはみられない。 |
| | □ | スーパー（販売企画） | ・新型コロナウイルス禍での買物スタイルである、客数は減少で客単価はアップの状況がまだ続いていて、しばらくはこの状況だと考える。また、新規オープンの競合店影響も一巡しないと変わらないことから同じ状況が続くと予想する。 |
| | □ | コンビニ（経営者） | ・Go To Travelキャンペーンの東京都除外解除に伴い県内への観光客が増加傾向にあるが、新型コロナウイルスの感染者数も増加しており、自粛モードを払拭するには至らない。今後の感染状況によっては大きく左右されることを考えると方向感のみえてこない。 |
| | □ | 衣料品専門店（経営者） | ・今月はまだ暑い日が続いており、平年だと季節の先取りがある程度出てくるが、今年はかなり少ない状態が続いている。本業界は、景気の影響をものに受けているとみられる。まだ景気は良くなるようには見受けられない。 |
| | □ | その他飲食 [居酒屋]（経営者） | ・新型コロナウイルスのり患者数の増減で、地元客の来店数が大きく影響を受けているので、Go To Travelキャンペーンなどを利用した観光客が増えることを期待している。 |
| | □ | 観光型ホテル（マーケティング担当） | ・今後もこのGo To Travelキャンペーンの効果で予約状況が好調で、今月同様に今後2～3か月後の客室稼働率も前年実績を超え好調な状況である。 |
| | □ | 旅行代理店（マネージャー） | ・国内個人旅行、出張等の利用客は増えつつあるが、新型コロナウイルスが終息したわけではない。いつストップが掛かるかの綱渡り状態である。今後、強制力のない対応で海外の解禁をすると全てが崩壊する。 |
| | □ | 住宅販売会社（代表取締役） | ・当面は、ほぼ現在の建築受注ペースで進むとみられるが、新型コロナウイルスの再流行による心理的な景気悪化が懸念される。 |
| ▲ | スーパー（企画担当） | ・クリスマスや年末年始の需要が、新型コロナウイルス禍の影響で縮小される可能性がある。 | |
| × | 商店街（代表者） | ・現在の新型コロナウイルス禍で、飲食だけでなく物販の店舗も全部にわたって大変危機的状況となっているようである。Go To Travelキャンペーンでも、以前に戻るのには至難の業かとみている。現時点では、ワクチンが開発されない限り、悪くはなっても良い方向に進むのは難しいと考えられる。 | |
| × | 衣料品専門店（経営者） | ・冬に向けて新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されることから、年末に向けての様々なイベントもなくなり、例年より人出も少なくなる。それに伴い景気も悪くなるとみられる。 | |
| 企業 | ◎ | － | － |

| | | | |
|------------------|---|-----------------|---|
| 動向 関連 (沖縄) | ○ | 輸送業（代表者） | ・宮古島、石垣島の建設関連は、民需部門においては新型コロナウイルスの感染拡大で、現場の方も戦々恐々としているが、比較的好調に推移すると考える。民需はアパート等は落ちているが、大手企業のホテル建設は持ち直しつつある。 |
| | ○ | 輸送業（経営企画室） | ・行政案件にて事業者ヒアリングを実施しているなかで新型コロナウイルス禍における状況を伺っており、景気が悪化しているところ又は好転しているところと様々である。ただし、一律して状況が戻りつつあるという回答を受けている。 |
| | □ | 食料品製造業（総務） | ・徐々に良くなる気もする反面、厳しくなった企業の人員削減や資金繰り悪化といった現象面が出てくると、消費マインドも冷え込み、経済停滞も想定される。 |
| | □ | 窯業・土石製品製造業（経営者） | ・新型コロナウイルスの影響で当面厳しい状態が続く見通しである。 |
| | □ | 建設業（経営者） | ・引き合いや相談があっても、具体的に商談が進まない。 |
| | □ | 広告代理店（営業担当） | ・やはり、県内における新型コロナウイルス感染症の感染者数が高止まりしている状況から、先行きを不安視する傾向が続いており、販売促進費用を抑える状況に変わりはない。 |
| | ▲ | — | — |
| | × | — | — |
| 雇用 関連 (沖縄) | ◎ | — | — |
| | ○ | 人材派遣会社（経営者） | ・沖縄県全体で経済の動きが出始め、それに伴い派遣依頼も増加してきている。この傾向はしばらく続くものと思われる。 |
| | ○ | 人材派遣会社（総務担当） | ・Go To Travelキャンペーンで観光客が増加し、目抜き通りも少しずつ活気が出てきているようにみえる。 |
| | ○ | 学校〔専門学校〕（就職担当） | ・早くも2022年対象の就職イベントが活発になっている。環境の変化に対応する対策がスピーディーに進むと考えられる。 |
| | ○ | 学校〔大学〕（就職支援担当） | ・Go Toキャンペーンの効果が現れると考える。 |
| | □ | 求人情報誌製作会社（営業担当） | ・新型コロナウイルスの新規感染者が増えていることで求人企業、求職者も外出に慎重になるかと考える。 |
| | □ | 求人情報誌製作会社（編集室） | ・例年12月は求人件数が減少する傾向にあるが、毎年1月は100件以上増加している。新型コロナウイルスの影響によっては増加率が低くなることも考えられる。 |
| | □ | 職業安定所（職員） | ・求人数が前年同月のおよそ6～7割で移行し続ける可能性が高い。 |
| ▲ | — | — | |
| × | — | — | |